

第5回安曇野市行政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名	第5回安曇野市行政改革推進委員会
2	日 時	平成21年11月27日(金) 午後1時30分から午後2時45分まで
3	会 場	市堀金総合支所 3階301会議室
4	出 席 者	白澤亀内会長、浅川文彬副会長、尾台ゆみ委員、武井辰雄委員、牛山宣久委員、加々美孝男委員、佐々木一夫委員、平倉重則委員
5	市側出席者	坂内総務部長、西澤行政改革推進室長、等々力室長補佐、平林係長
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1 人 記者 2 人
8	会議概要作成年月日	平成21年12月7日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開 会 (浅川 副会長)
- (2) 会長あいさつ (白澤 会長)
- (3) 議 事
 - ・ 市長からの諮問について
 - ・ 第2次安曇野市行財政改革大綱の策定について
- (4) 報 告
 - ・ 平成21年度行政改革の取組み状況報告(10月1日現在)
- (5) 閉 会 (浅川 副会長)

2 審議概要

副会長：委員12名のうち、本日は8名の出席であり、安曇野市行政改革推進委員会設置条例第5条第2項の規定に基づき会議は成立していることを報告する。
同じく、第5条第1項の規定に基づき白澤会長が議長となり議事進行を行なっていた。

(1) 協議事項

① 諮問について

西澤室長：本来、市長が委員皆様の前で諮問申し上げる予定であったが、公務の都合により午前中に市長から会長と副会長に諮問いただいたので、ご了承願う。

西澤室長が諮問書を朗読する。

諮問事項：「第2次安曇野市行財政改革大綱の策定について」

諮問趣旨：「地方分権時代に対応した簡素で効率的かつ効果的な市政の実現に向け、また最少の経費で市民にとって満足度の高い行政サービスを提供できるよう改善を進め、これからの時代の変化に対応し得る行政を確立するため、第2次安曇野市行財政改革大綱を策定することについて、貴委員会の意見を求めます。」

会 長：諮問に基づき、次の協議事項に入るとする。

②第2次安曇野市行財政改革大綱の策定について

事務局：市では、平成18年度に「安曇野市行財政改革大綱(第1次)」(平成18年度～平成21年度)を策定した。その実現を図るため、実施計画である行政経営改革プランを策定し、積極的に取組んできた。そして、職員定員適正化計画やアウトソーシング計画をはじめ、補助金の見直し等々の着実な実行により一定の成果をあげてきた。

しかしながら、長引く景気低迷に加え、世界金融危機の影響などにより、市税を中心とする歳入が減少するなど、市の財政状況は厳しい状況となっている。更に、少子高齢化、地方分権の進展などの社会経済状況の変化などにより、市を取り巻く環境は大きく変化している。こうした状況の中で、多様な市民ニーズに的確に応えることはもちろんのこと、持続可能な行財政システムを確立することが重要となっている。そのために、将来を見据えた行財政改革を不断に取組んでいく必要がある。当市においても、将来にわたり自立できる足腰の強い自治を継続するため、市の新たな行財政大綱(第2次)を策定して「市民の視点に立った」更なる意識改革のもと行財政改革を断行することとしたい。

忙しい日程であるが、こちらから骨子となる素案を示すので、審議いただきご意見をいただきたい。策定目標を3月としたいので、出来れば答申を2月ぐらいにいただきたい。

会長：第2次安曇野市行財政改革大綱の策定について概略の説明があった。本年度中に答申しなければならぬ。12月中に1回本委員会を開催し、1月には1～2回委員会を開催して検討したい。

委員：よろしい。

(2)協議事項

①平成21年度行政改革の取組み状況(10月1日現在)の報告について

別添「平成21年度行政改革の取組み状況報告(10月1日現在)」を事務局が説明する。

委員：「職員提案制度の確立と活用」について「知恵袋」という言葉も職員の提案か。

事務局：合併当初から職員提案制度はあった。事務事業改善と提案制度は切り分けて考えるべきという議論となった。「知恵袋」というネーミングも職員の提案である。

委員：取組項目「本庁・総合支所の総合的な見直し」について、本庁舎等建設審議会からの答申を踏まえ本庁舎等建設基本構想を策定したようだが、新市長体制となり、市民から何か意見が出ているか。

事務局：新市長が就任してから、再度本庁舎建設検討について住民説明会を実施した。3地区開催した中では、大きな反対意見は無かった。

委員：「収税等収納率の向上」について、厳しい経済情勢下で、滞納者も増えていると思う。納税の公平性から、積極的に収納率の向上に努めているのか。

事務局：一生懸命やっている。差押件数は、前年度の10倍ぐらいとなっている。

委員：「まちづくり条例(市民基本条例)の検討」は難航しているようだが、住民や地域の諸団体の自発性を尊重していたら、時間も要することになる。一つの課だけでなく、他の課係と連携して取組んだらどうか。意識改革と実践とセットで進めて欲しい。

事務局：ご意見を担当課にも伝えたい。

委員：「入札及び契約方法の見直し」について、比較的安価なもの(工事など)については、地元業者を使って欲しい。また、私の家の近くで、最近、未利用施設の取り壊しがあった。その施設の取り壊しは良いことだが、市内には合併後未活用の施設が随分沢山ある。その中には危険施設もあるので整理して欲しい。

事務局：担当にも指導したい。

委員：「消防団組織の見直し」について、消防団の必要性も認めるし団員には感謝している。全体数とすれば縮小もあるのではないか。財政面では、逆にもっと支援してもらいたい。

事務局：消防委員会に消防組織について諮問している。合併前に消防組織をコンパクトにしている地域もある。現在は団員確保に苦慮している。

委員：独り暮らし高齢者も増えている。地域で市広報誌を配布してやれば、その高齢者にぬくもりを与えられる。市広報誌が新聞折込みになったのもいろいろな理由があったからだろうが、安くて便利だけの行政改革ではだめだと思う。

事務局：市広報誌の配布については、自治会への加入率低下などもあり、新聞折込み方式を実施している。

(3)その他

事務局から市の組織の一部変更を報告する。

- ・収入役が辞職したあと、地方自治法の改正により、11月に会計局を新設し、会計管理者を置いた。契約管財課から検査部門を異動させ、同局に検査課を新設した。
- ・8月に総務部に本庁舎建設準備室を設置した。

閉 会

副会長のあいさつで閉会となる。

平成21年度 行政改革の取組み状況報告
(10月1日現在)

《実施状況—本年度の取組み項目数 42項目》

・実施済(達成)	・ ・ ・ ・ ・	2
・実施中	・ ・ ・ ・ ・	34
・検討・準備中	・ ・ ・ ・ ・	4
・未着手	・ ・ ・ ・ ・	2

平成21年度 安曇野市行政改革取組状況報告(10月1日現在)

【総務部】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
庁舎単位の環境保全計画の推進	実施中	<p>本庁舎及び各総合支所において以下の取り組みを実施している。</p> <p>①「資源物」「燃えるごみ」「燃えないごみ」の分別を徹底し、その排出量を記録している。</p> <p>②ミスコピー及びミスプリ用紙については、再利用棚(箱)を設け、庁内文書としての利用を積極的に図るよう総務課、地域支援課が指導している。</p> <p>③夏季の庁舎内の冷房温度を28度とし、夏季クールビズを実施した。また、クールビズの対応をしていることを看板等により庁舎内外に知らせた。</p> <p>④始業前、昼休み時間の電灯の消灯を徹底している。(但し、お客様カウンターは点けている。)</p> <p>⑤電気、ガス、灯油、重油、上下水道の使用量について、毎月記録をとり、四半期ごとに総務課で集計し、その推移や対前年度との比較を基に、さらなる削減に努めている。</p> <p>*本年度上半期の前年度対比の詳細は、下表の補足のとおり。</p>	<p>総務課</p> <p>総合支所 地域支援課</p>

《補足》

本庁舎及び5総合支所の対前年度の削減目標値及び上半期の対前年度の実績は以下のとおりであった。光熱水費は、単価の増減があるため、金額ではなく使用量で比較した。

	目標数字	実績値	備考
燃えるごみ	20年度排出量の 1%減	袋数 2.5%増 業者処理分 9.0%減	本庁舎のみの数値
燃えないごみ	20年度排出量の0.1%減	金物 皆減 ガラス、陶器133.3%増	本庁舎のみの数値
電力	20年度実績の 0.1%減	3.2%減	
プロパンガス	〃	21.6%減	
灯油	〃	29.2%減	
重油	〃	皆減	
水道	〃	17.8%減	
下水道	〃	10.7%減	

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
適正な定員管理の実施	実施中	多様な職員の任用として、10月1日付で建築・土木の職務経験者を5名採用。また、本年4月1日現在の職員数は定員適正化計画を達成しているが、更なる多様な職員の任用や非常勤職員の活用等可能な業務のアウトソーシングを検討中。	人事課
一般非常勤職員配置方針の確立	実施中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月に正規職員が行っている事務内容を「政策形成・課題解決が必要な事務(正規職員対応)」、「定例・定型的な業務(非常勤職員等で対応可能な事務)」、「業務委託可能な事務」の3つに仕分けする調査を依頼。 ・ 9月に上記の調査を踏まえ、行政改革推進室とともに関係課長等とのヒアリングを行う。 現在、非常勤職員等の配置方針案を作成中	人事課
人事評価制度の給与への反映	実施中	人事評価制度導入に向け、平成20年度の2次試行から引き続き3次試行を実施した。 人事評価に対する職員の意識の醸成と評価の公平・公正性を確保するため人事評価研修を5月、及び7月に全職員に実施した。 平成22年度に向けた制度の見直しについては、「人事評価制度検討プロジェクト・チーム」を組織して、導入に向けた人事評価制度を構築している。	人事課
時間外勤務手当の縮減	実施中	職員の健康管理（長時間労働による健康への影響の低減）及び時間外勤務の抑制（対前年比3パーセントの縮減）	人事課
時差出勤制度の導入拡大	検討中	職員の長時間労働による健康への影響の低減及び時間外勤務の抑制を目指し、他自治体の状況、該当職場への調査を行なう予定	人事課
職員提案制度の確立と活用	実施中	4月に安曇野市職員提案規程の一部を改正して、安曇野市職員知恵袋規程とし、6月から事務改善提案と施策提案の2種類について、募集を行った。31件の提案があり、17年度分を含めて審査会を開催して、表彰区分について決定した。	人事課
庁内公募制度の導入	検討中	職員の能力を活かし、職場を活性化させるため、新たな異動希望調書の導入の検討を行なう。	人事課

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
類似した委員会・協議会等の統廃合	実施中	<p>「安曇野市男女共同参画推進審議会」及び「安曇野市男女共同参画庁内推進本部」を開催し、安曇野市男女共同参画連絡協議会をはじめとする、各推進組織の役割分担について説明し了解を得た。今後は、組織の相互連携による事業推進に努める。</p> <p>(推進審議会の設置に合わせて、安曇野市男女共同参画社会形成推進委員会設置要綱は、H20. 12. 26付け廃止済み)</p>	人権尊重課
収税等収納率の向上	実施中	<p>年間計画により6月から8月までに延べ12日、466件の電話催告と文書催告748件、合計1,214件の納入督促を実施した。一斉催告書の発送は5月12日、8月24日で合計7,395件であった。9月末までの差押件数は423件で換価件数は221件、換価額は17,996,655円であった。差押後は分納誓約による自主納付に結びつけ成果を挙げている。</p>	収納課
全庁(横断)的な収納・滞納整理体制の整備	実施中	<p>4月14日に収納対策本部の会議を開催した。年度当初に各部各課の実施方針を定め、これの確認を行って事業をスタートさせた。(収納課・市民課・高齢者介護課・建築住宅化・業務課)</p>	収納課
自主納付環境の整備(コンビニに収納)	実施中	<p>4月から固定資産税・軽自動車税・市県民税・国保税の4税目の当初納付書をコンビニ収納対応様式で発行した。コンビニでの納付額は159,209,934円(国保税含むと176,246,234円)であった。第1期分(6月分まで)の集計では3税の督促状発送状況は、前年と比較すると額で△27,907,357円(国保税を含めると△26,879,457円)(*国保の場合、調定額が増し督促額が増えたことによる。)</p> <p>件数で△787件(国保税を含めると△943件)減少したコンビニ収納の開始により督促状発送件数が減少したことで僅かであるが納期内納税件数が浸透してきている。</p> <p>前年と比較して調定額が大きく減少していることと、雇用情勢の悪化の現段階で収納率の比較はできないが、従来の支所窓口納付や金融機関窓口からコンビニでの納付へと移行しており成果は出ている。またいつでも納付可能という納付環境の整備の結果、納税交渉も非常に優位となった。</p>	収納課

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
本庁・総合支所の総合的な見直し	実施中	<p>◎消防団出場範囲の見直し 消防団出場範囲の見直しについては、市消防委員会に市長から諮問し、本年夏までに中間答申をいただくように取り組んできた。しかし、消防団組織はその地域で培った伝統やその地域の考え方など様々で、合併から4年目の時点での大幅な見直しには、各地域の理解や調整が得られず、大変苦慮しているのが現状である。 このため、消防団出場範囲は22年度の検討としたい。</p> <p>◎各方面隊運営事務の平準化 H22年度から消防団組織内の内、各方面隊長制を廃止することは、消防団、消防委員会ではほぼ決定した。 各方面隊で行う事務と危機管理室で補佐する事務を明確にする。 また、昨年度までは各方面隊に危機管理室職員5名を配置し、方面隊の事務を補佐してきたが、本年から「穂高・明科」を北部担当、「豊科・堀金・三郷」を南部担当とし、担当者を2名とした。</p> <p>◎ 消防団運営補助金の見直し 消防団の組織見直しが難航しているため、出場範囲の見直し等と同様に22年度の検討としたい。 今後は他市の状況等を把握し、判断材料を消防委員会、団幹部会議へ提出する。23年度当初予算要求時までには、見直し案を作成したい。</p>	危機管理室

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
受益と負担の適正化	実施中	適正化に向けた使用料等に係る算定資料の整備及び先進地における資料収集などを行っている。 民間等を交えた本格的な協議・調整及び市民からの意見募集等は、次年度において実施予定。	行政改革推進室
アウトソーシング計画の策定	実施中	保育園給食調理業務委託の実施時期の前倒し及び室山アグリパークの索道施設廃止に伴う指定管理者制度導入の再検討などについて関係部局と調整中である。	行政改革推進室
指定管理者制度の導入	実施中	指定管理者の業務に対するモニタリング評価（監視）制度の構築に向け本年度は89施設中43施設について試行に取り組んでいる。本年9月までに各指定管理者に対する説明会を実施し、本年12月中旬までには各施設の評価シートが完成する見込みである。	行政改革推進室
第三セクターの見直し方針の進行管理	実施中	「出資法人あり方検討専門委員」からの提言を指針として、20年度に引続き、庁内プロジェクトチームにおいてその改善方針などを検討してきた。 農政課などとの連絡調整を密にしながら、今後も三セクの市改善方針の進行管理に努める。	行政改革推進室
本庁・総合支所の総合的な見直し (本庁舎等建設基本構想の策定)	実施済	安曇野市本庁舎等建設審議会にて、市役所本庁舎等を建設するための課題について調査及び研究を行い、平成21年5月に「市役所本庁舎等の建設基本構想その他必要な事項に関する答申書」をいただいた。市ではこれらを踏まえ「安曇野市本庁舎等建設基本構想(案)」を作成し、多くの市民の皆様から構想案に対するご意見をいただき、7月に「安曇野市本庁舎等建設基本構想」を策定し、市のホームページに掲載するとともに、ダイジェスト版を9月2日に全戸配布した。	本庁舎建設準備室

平成21年度 安曇野市行政改革取組状況報告(10月1日現在)

【企画財政部】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
行政評価制度の導入	実施中	<p>若干の遅れがあるものの、おおむね年度当初に計画したスケジュールどおりに進んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象事務事業の洗い出し(4月) ・H20評価シート(C・A)の作成、シート添削 ・H21評価シート(P・D)の作成、シート添削 ・施策研修会の開催(7月22日) ・施策評価シート・部局の経営方針シート作成(8月) ・ヘルプデスクの実施 ・経営戦略会議・行政経営会議の設置 ・WT会議の開催 <p>今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)庁内評価委員会の設置検討他 	企画政策課
電子決裁等の導入検討	実施中	<p>昨年7月より稼働した簡易電子決裁システム(庶務事務システム)について、担当課と申請・届出の拡充及び改善について検討を行っている。</p> <p>また、全体システムとしての文書管理システム、財務会計システムとの連携を見越した、総合的な電子決裁システムについての導入の可否、及び時期等について検討を進める。</p>	情報政策課
ホームページの充実	実施中	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新システム(CMS)の専門家による操作研修会を、5月28日から29日に3回実施し、本年度新規採用職員や異動職員を中心に44名の職員が受講した。 ・日ごろの職員からの問い合わせ等に対応し、出向いて指導するなども実施している。 	まちづくり推進課
市民意見聴取方法の体系化	実施中	<p>現在、様式等を整理中で、今後は流れとマニュアル(手引き)を整備する。</p>	まちづくり推進課

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
まちづくり条例 (市民基本条例) の検討	未着手	まちづくり条例については、市民の協働の理解度に応じて策定したい。また、協働のまちづくりの体制づくりとして「まちづくり推進会議」の組織づくりに向け、総合支所地域支援課まちづくり推進係長と協議を重ねる中、住民や地域の諸団体の自発性を尊重し、押し付けせず住民が参加しやすい体制づくりについて条件整備を検討中であり、今後は市区長会を始め各種団体とも検討することとなる。なお、この推進会議の検討を通じて市民の協働の必要性の理解を深めたい。	まちづくり推進課
交流活動の促進	実施中	市民活動センター（くるりん広場）の管理運営を行っている「わの会」と協働しながら市民活動団体への行政の情報提供を行い、交流活動への支援を行っている。また、つながりひろがる地域づくり事業補助金事業については、市民活動団体が行う自主的で主体的な市内で行う協働の啓発を伴い、地域の絆を強める事業に対し幅広い市民活動事業の輪を広げることを目的として、総合支所地域支援課まちづくり推進係とともに連絡調整を蜜にしながら市民活動団体に対し支援を行っている。また、事業補助交付市民活動団体について、活動発表会を開催し、一定の交流活動の促進として成果を上げている。	まちづくり推進課
物件費の削減	実施済	決算統計による分析を行った。（物件費に係る経常経費は192,233千円の増加となり経常収支比率は0.5%上昇した。これは保育園臨時職員賃金の増加、中央図書館図書購入費の増加等による。） 特に増加傾向にあるものは、臨時職員賃金、施設の管理費である光熱水費、図書等の購入である。図書の購入は開館に向けての一時的な状況と考えますが、現状ではこれらの経費の削減は困難な状況ではありますが、当初予算編成において重点目標とする。	財政課
補助金の見直し	実施中	補助金申請時における適正化を確認しており、概ね改善に向けた取組みが浸透している。引続き確認を行いながら、担当での調整を促していく。また、新規補助金について、適正性や期間等の確認をしていく。	財政課

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
扶助費の見直し	実施中	9月に「扶助費（単独）」の見直し会議を開催し、昨年出された調書により検討を行いました。廃止や見直しを行う事業を決め一定の方向性を示した。	財政課
財務分析の公表	実施中	11月までに一部事務組合、第三セクターを含めた財務諸表を作成し、12月に広報誌やHPに公表予定	財政課
入札及び契約方法の見直し	実施中	本年度の取組み方針について「建設工事等入札業者選定委員会」の承認を得て全庁に周知した。 6月から、2,000万円以上の工事について一般競争入札を実施している。 総合評価落札方式については、9月末までに8件の入札を実施した。	契約管財課
電子入札の導入	準備中	長野県と電子入札システム参加予定市町村は5月27日にプロポーザルを実施し（安曇野市も評価委員として参加）、その結果を基に長野県は富士通㈱と電子入札システムの契約を締結した。 当市が電子入札システムを導入するには県のシステムと安曇野市の現契約システム（NEC製）とを接続する必要がある。 現在は23年4月運用開始に向け、22年度中のセットアップについて、富士通㈱とNECに詳細見積もりを依頼している。 金抜き設計図書のダウンロードは4月より実施済み	契約管財課
市有財産の整理処分	実施中	平成21年度売却予定の5箇所の内、2箇所は境界測量委託済。1箇所は境界測量委託予定。公園建設要望のため1箇所保留とし、1箇所は都合により現状のまま保有することとした。 平成20年度に一般競争入札で売却できなかった3箇所は随意契約により売却を予定しているが購入希望者がいない。	契約管財課
低・未利用施設の有効活用	未着手	明科峰方の旧授産所は社会福祉課が所管しているが、解体工事は平成22年度に実施できるよう「実施計画」に計上した。	契約管財課

平成21年度 安曇野市行政改革取組状況報告(10月1日現在)

【市民環境部】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
各種団体の自立促進 (交通安全協会)	実施中	市内安協支部長連絡会(仮称)を設置し、各支部長との協議を行った。 事務局のあり方・自立の方向について、安協組織・支所との協議を進めている。	環境課
各種団体の自立促進 (防犯指導員)	実施中	穂高地域防犯協会が発足した。	環境課

平成21年度 安曇野市行政改革取組状況報告(10月1日現在)

【健康福祉部】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
アウトソーシング 計画の策定	実施中	7月10日から、調理業務委託に向けた説明会を豊科地域、明科地域の各保育園において実施した。この中で、特段の異議はなかったことから、11月の入札(プロポーザル)実施に向けて準備を進めた。	児童保育課

平成21年度 安曇野市行政改革取組状況報告(10月1日現在)

【産業観光部】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
各種イベントの統廃合	実施中	各種イベントの主目的や対費用効果を検証し、市内全域及び観光振興に大きく寄与していないものについては、各総合支所に財源と事務所掌を移管するよう、行政改革推進室及び当該実行委員会に対して調整中。一部のイベントについては、平成22年度に移管可能見込み。	安曇野ブランド推進室
部局における政策調整機能の検討 (事務の効率化)	実施中	平成21年度実施の安曇野フェスタについては、ブランド推進担当と観光振興担当の連携を密にして、財源と人を効率的に運用した。 また、安曇野ブランド全国発信事業では、全国誌掲載及びポスター作成をブランド推進担当が担任し、首都圏でのエージェント商談会等では、観光振興担当が当該成果物を活用し全国発信(広告宣伝)をした。	安曇野ブランド推進室

平成21年度 安曇野市行政改革取組状況報告(10月1日現在)

【都市建設部】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
指定管理者制度の導入（碌山公園研成ホール）	実施中	碌山美術館の芸術文化の発信施設等の観点から考慮して、教育委員会文化課に「研成ホール」の施設管理の所管替えの検討を平成21年度内に継続的に実施する。	都市計画課

平成21年度 安曇野市行政改革取組状況報告(10月1日現在)

【上下水道部】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
アウトソーシング計画の策定	実施中	<p>平成22年10月からの実施を前提に、上水道窓口・検針・賦課業務等を民間委託するにあたり、前年度はWGによる事業項目の洗い出しと委託の可能性のランク付け等を行った。</p> <p>21年度はこれを受け行革室、企画政策課及び各総合支所の産業建設課を含めたPTを設置し、より具体的な協議を重ねている。</p> <p>必要に応じて先進地における詳細な業務についてのヒアリングを実施するとともに、施設の位置、上下水道部全体の配置等についての検討も重ね、実施計画に予算等を計上した。</p>	業務課

平成21年度 安曇野市行政改革取組状況報告(10月1日現在)

【教育委員会】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
学校予算の学校間不均衡是正と必要経費見直し	実施中	委託業務、リース契約、備品購入等の一括契約を順次推進中。	学校教育課
アウトソーシング計画の策定 市内4ヶ所の学校給食センター及び穂高幼稚園分室の調理・洗浄・運搬業務を、平成23年において民間に委託するための準備を行う。	検討中	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託に関し、学校給食センター運営委員会において検討中である。 ・平成22年度から民間委託を実施する須坂市学校給食センターにおいて、状況調査を実施した。 	学校給食課
物件費の削減	実施中	<p>○穂高交流学習センター建設工事の縮減</p> <p>1 直接工事費に対する諸経費を、標準的な率（国土交通省制定：公共建築工事積算基準）の適用ではなく、安曇野市独自の算定基準を用いて積算することにより、諸経費を削減し建築工事費を縮減した。</p> <p style="padding-left: 20px;">標準：1,479,252,500円 →市独自経費：1,447,099,500円・・・△2.2%</p> <p>2 維持管理経費の縮減のため、建物の構造等について、断熱二重サッシ、図書館の天窗設置などを採用し、光熱水費の縮減に努めた。また、電気代の基本料削減のため、デマンド警報装置（電力使用量が規定量を超えそうになると警報音が鳴るシステム）を導入した。</p> <p>3 センター内で使用する備品について、設置箇所毎に異なる仕様とせず、同一仕様、同一サイズの机や椅子とすることで、施設内での使い回しが可能となるよう選定した。</p> <p style="padding-left: 20px;">部屋毎の購入：机＝64台…3,664,000円→同一仕様・サイズ化：48台…2,748,000円・・・△25%</p> <p style="padding-left: 20px;">椅子＝202脚…4,454,100円→164脚…3,616,200円 ・・・△18%</p>	文化課

		<p>○豊科交流学習センター建設事業の施設造りの方針</p> <ol style="list-style-type: none">1 完成後の利用率を高めるために、隣接・接続する豊科近代美術館と相互利用・補完が可能な構造とした。2 維持管理費用の縮減を図るため、断熱二重サッシや深夜電力利用の床暖房装置を導入した。	
--	--	--	--